

登録コード	UAG04500	開講年度	2026				
授業題目	財務会計特論					担当教員	深谷 高史
						副担当	
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	火曜・6時限		
				授業形態	講義		
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」					【授業の達成目標】	
	2 6 UAカリ・総人社・経済学, 2 5 UAカリ・総人社・経済学, 2 4 UAカリ・総人社・経済学						
	【経済学】経済学分野の高度で先端的な知識と技能を有する。					現代社会における株式会社会計の役割を理解し、企業外部の利害関係者に向けて開示される財務諸表がどのような考え方に基づいて作成されるのかについて理解できるようになることを達成目標としている。	
(2)授業の概要	現在の社会において、株式会社は最も典型的な企業形態であり、広く社会や世界から資金を調達して経済活動を行っています。多くの企業は、一つの事業を期限付きで行ったのち解散するのではなく、長期的かつ継続的に事業を展開しています。このことから企業は、資金提供者をはじめとする外部の利害関係者に対して、経営や会計の状況を定期的に報告する責任を負います。その責任を果たす方法の一つが、財務諸表の作成と開示です。 本講義では、担当教員が税理士の実務経験を活かし、財務諸表の作成に関する基本的及び応用的な考え方を中心に講義を展開します。						
(3)授業計画	本講義の計画は、下記のとおりです。 なお、本講義は第1回を除き、リアルタイムのオンライン形式で行います。ZoomミーティングのURLは、eALPSまたはメールにてお知らせします。第1回の講義は教室集合の形式で行います。 第1回 ガイダンス、資本主義経済社会における財務会計の機能と制度 第2回 利益計算の仕組み 第3回 会計理論と会計基準 第4回 利益測定と資産評価の基礎概念 第5回 現金預金と有価証券 第6回 売上高と売上債権 第7回 棚卸資産と売上原価 第8回 有形固定資産と減価償却 第9回 無形固定資産と繰延資産 第10回 負債 第11回 株主資本と純資産 第12回 財務諸表の作成と公開 第13回 連結財務諸表 第14回 外貨建取引等の換算、全体の振り返り						
(4)成績評価の方法	講義でのプレゼンテーション及びディスカッションへの参加、レポート課題等による評価 プレゼンテーションは受講生が輪番制で担当するものとし、初回ガイダンスにて話し合いにより分担を決めます。 レポート課題は第14回授業の時に提出し、サマリーを発表してください。						
(5)成績評価の基準	プレゼンテーション、ディスカッション、レポート課題等が ・講義の達成目標から見て卓越していれば 秀（S） ・講義の達成目標から見て合格水準のかなり上にあれば 優（A） ・講義の達成目標から見て合格水準のやや上にあれば 良（B） ・講義の達成目標から見て合格水準にあれば 可（C）						
(6)事前事後学習の内容	講義終了時に次回講義の予習ポイントについて説明をするので、あらかじめ資料等を読んで講義に出席してください。						
(7)履修上の注意	簿記の知識（日本商工会議所簿記検定試験2級商業簿記程度）が前提となります。第1回目に講義の進め方等の説明を行ないますので、履修希望者は必ず出席してください。また、第1回目の講義において各自の関心がある財務会計の論点を話してもらいますので、予め考えを整理して出席してください。						
(8)質問、相談への対応	各自の疑問等は他の受講生の参考になるため、できる限り講義の中で共有してください。その他の質問・相談については各講義終了時、またはメール（fukaya@shinshu-u.ac.jp）にて対応します。						
【教科書】	桜井久勝『財務会計講義』中央経済社（講義開始日における最新版）						
【参考書】	中央経済社編『会計法規集』中央経済社（講義開始日における最新版） 会計基準は、企業会計基準委員会のウェブサイト（https://www.asb-j.jp/jp/）で読むこともできます。 法令は、e-Gov法令検索（https://laws.e-gov.go.jp/）で読むこともできます。						